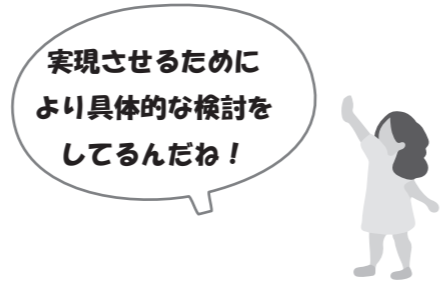


◆具体的な検討を行っていきます！

補助金に関する調査や区分所有法の改正も視野に入れ、今後の決議を目指し具体的な検討を行っていきます。



	2023年 10月	11月	12月	2024年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
集会所		概算	現在	理事会への報告・提案									建替え決議 ▷▷▷
池デッキ	見積	理事会への報告・提案						改修決議					50周年 記念行事 ▷▷▷

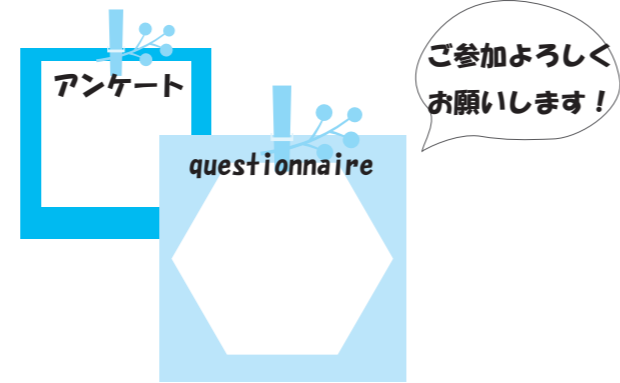
※池デッキの検討は50周年記念事業の一環として行っています。

◆1月に建替えに関するアンケートの実施を予定しています！

1月の棟集會資料やイベント時に実施しているアンケートを、本年度も実施予定です。

実現に向けて具体的な検討を行っている中で、再度みなさまのご意見を幅広くお伺いすることが目的です。

ぜひ、みなさまのご意見をお待ちしております！



❶ 団地再生活動に参加しませんか？

西小中台団地では、永く住み続けられる団地であるために「団地再生委員会」を組織してハード・ソフトの両面から団地再生活動に取り組んでいます。実際にこれからの団地について一緒に考えていってくれる方、活動をしてくれる方を広く募集しています。

お気軽に事務所までお声掛けください！



だんち☆さいせい いいんかい 団地再生委員会たより

令和5年12月号



◆団地再生委員会委員長のご挨拶

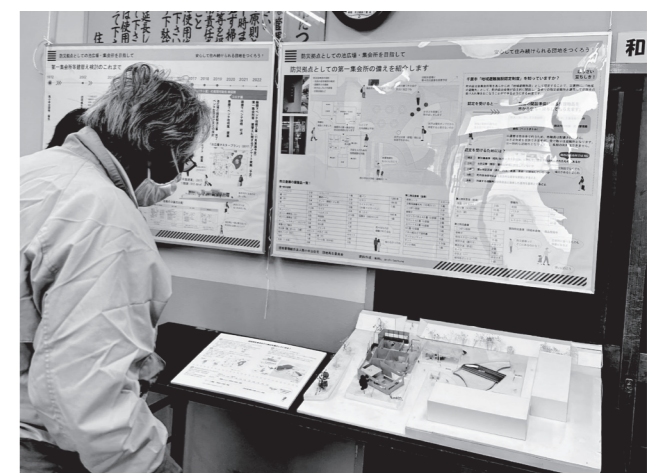
新型コロナによる長い間の忍耐生活にも終わりが見え始め、やっと皆さんと顔を合わせて団欒できるようになり、自治会主催の秋祭りでは「西小中台のコミュニティカ」を再認識することができました。今年度団地再生員会では長年続けてきた「コミュニティと防災の拠点としての集会所の建替え」を具体的に進めるべく、費用、法的なことを洗い出しています。大規模修繕工事が進む中で、『いかにして集会所建替え費用を捻出するか』難しい問題ですが、補助金制度の活用などを模索し、区分所有法改正も視野に入れながら前進できたらと考えています。集会所というと、「私は使わないから必要ない」と思われる方もいらっしゃるかとは思いますが、災害が起きた時に団地の拠点となり、新しい集会所での更なるコミュニティ活動によって団地内外の方々に注目され、団地の存続に繋がる事は今後大切と考えます。この広報をご覧いただき、皆様のご意見を頂きたいと考えていますので、どうぞよろしくお願い致します。

団地再生委員会委員長 足羽 智子

◆団地再生委員会の活動をみなさまに知ってもらうために

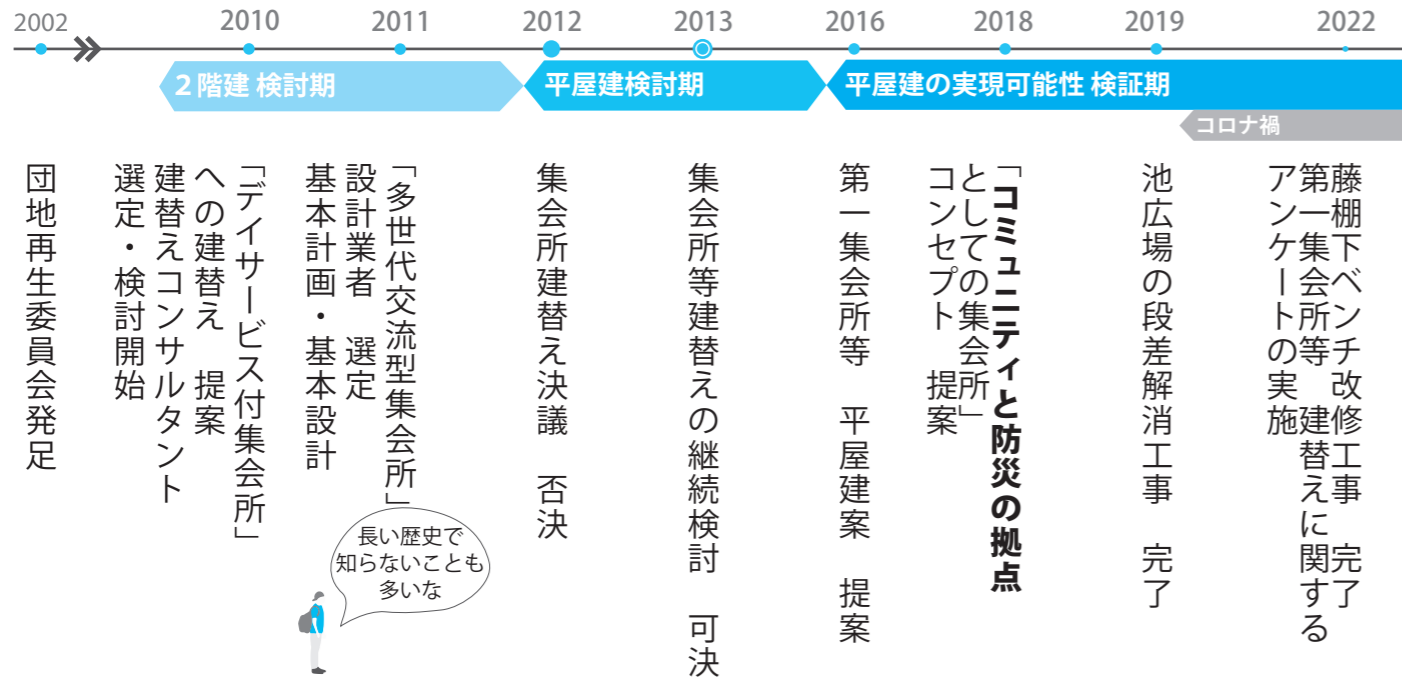
いつも団地再生委員会の活動にご協力いただき、誠に有難うございます。団地再生委員会では、2013年に集会所建替えの継続検討が可決されてから10年もの間検討を行っています。活動をみなさまにより知っていただくために、第一集会所集會室前で11月より展示を行っています。

本年度は具体的なプランや金額についても検討し、住民のみなさまにご理解いただき、より良い集会所をつくることを目指して、活動していきます。



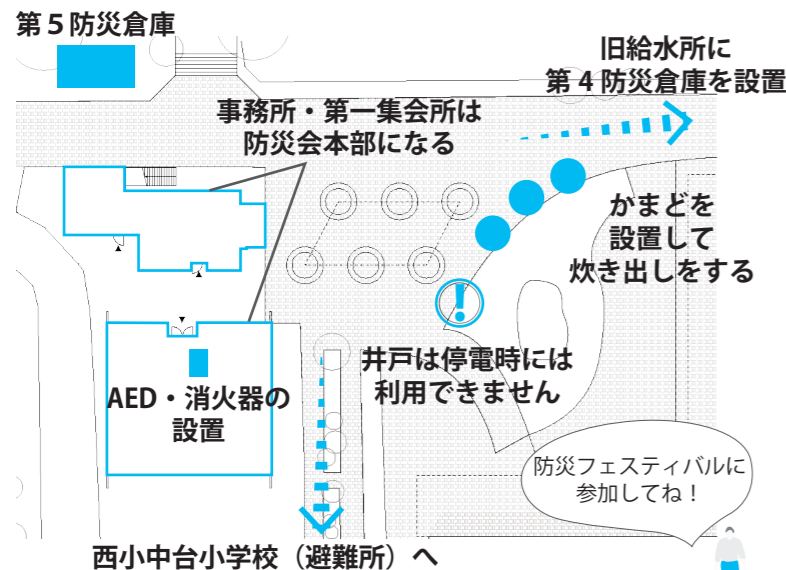
団地再生委員会での検討を展示しました！

1. 第一集会所等建替え検討のこれまで



2. 防災拠点としての第一集会所の備え

これまでも池広場や第一集会所周辺には多くの防災上の備えをしてきました。それらをご紹介します。



ぼうさい 千葉県 「地域避難施設認定制度」

町内自治会集会所等をあらかじめ「地域避難施設」として認定することで、災害時に、「地域の避難先」として、町内自治会等が自主的に開設し、最寄りの指定避難所と連携して避難者の受け入れ等をおこなうことができるようになる制度です。

認定を受けると... 施設の開設準備に係る支援物品を市から供与・貸与してもらえます。

- 収容人数に対して1日分の 食糧（アルファ米） 飲料（ペットボトル）
- 原則、1自治会1機の 防災行政無線 個別受信機

※運営は自治会でを行うため、市職員は配備されません。
※不足物資を要請できますが、受け取りは避難所となります。
※一時的な避難所となりますが、長期の利用はできません。

認定を受けるためには

既存の集会所では NG

- 構造 新耐震基準（昭和56年6月1日以降）に則して、建築または改修されたものであるか
- 立地 土砂災害（特別）警戒区域等に該当していないか
- 体制 町内自治会等による自主的な運営を前提とすること
- 所属する避難所運営委員会と連携した運用を基本とすること

認定施設でなくても 備えがあると安心ね

3. 池広場のコンセプト 防災とコミュニティの拠点

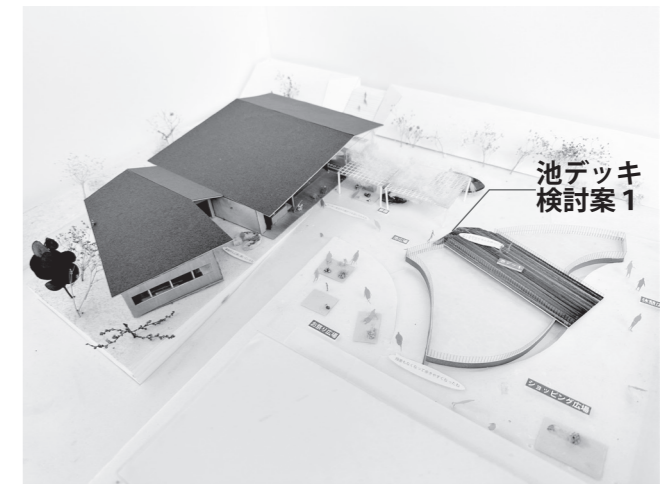
池広場は、段差解消工事や藤棚下ベンチの改修工事など、少しでもみなさまにとって過ごしやすい場をつくるために改修を重ねています。

50周年記念として検討している池デッキや集会所・藤棚下ベンチとの繋がりを考え、防災とコミュニティの拠点となる場を、目指しています。

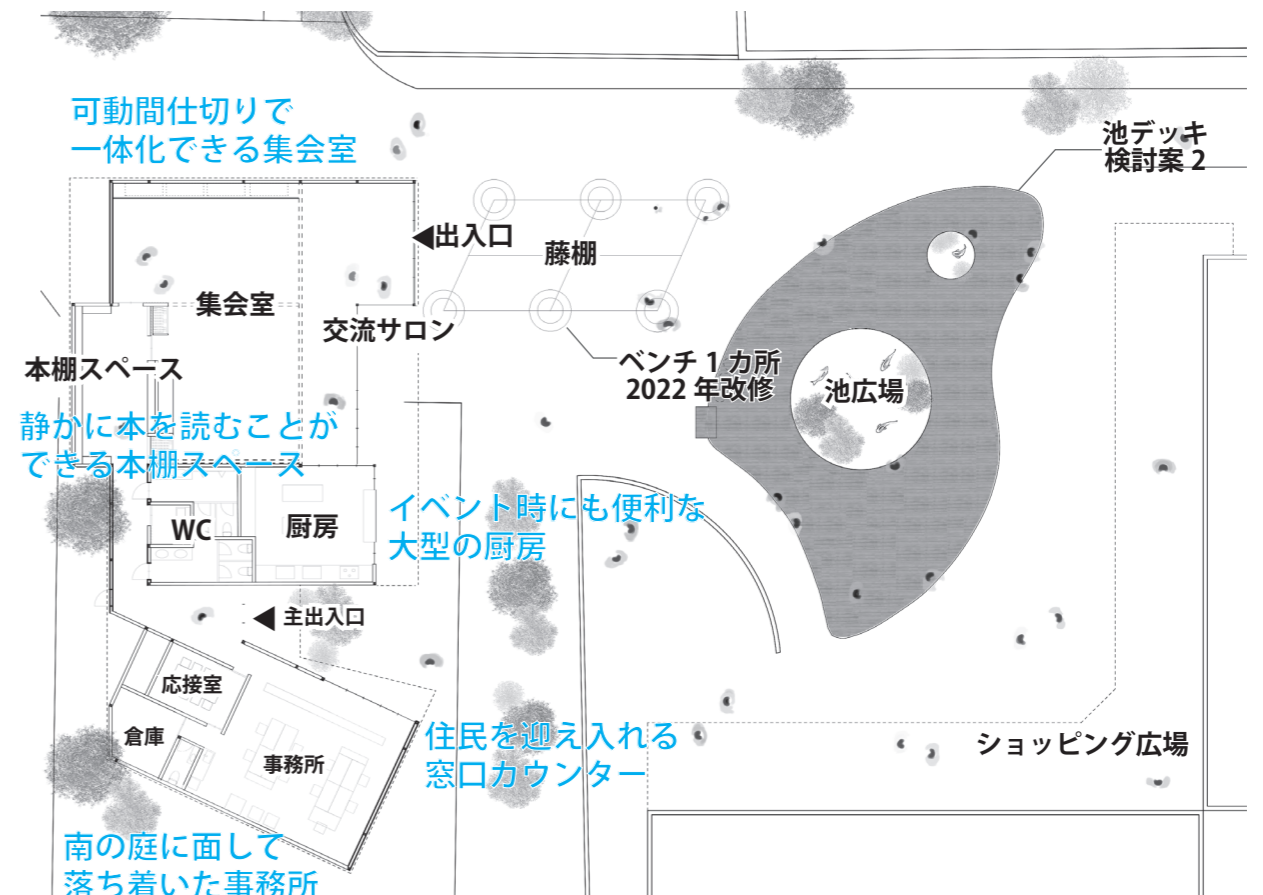
4. 集会所はコンパクトな平屋案の検討へ

本案は池広場のコンセプトと同じように防災拠点・コミュニティの拠点としての集会所目指し、平屋 400~500㎡程度の規模で検討しています。

建替え提案は2010年のデイサービス付き集会所案から、規模やプランをコンパクト化し、池広場と一体となり日常・災害共に西小中台団地の拠点となるように計画しています。



△池広場全体の検討例1の模型写真



△池広場全体の検討例2